

# 図書だより

令和5年度  
No.9  
甲佐高校図書室

## ★霜月★

霜がおりるため、霜降り月と名付けられたのが変化したものと考えられます。

🌸新着図書からおすすめの本をご紹介します🌸

東大名誉教授がおしえるやばい世界史

本村凌二

『東大名誉教授がおしえるやばい世界史』  
世界のどこを見ても「すごい」ばかりの人なんていない。だからこそ人はももしろい!

◇ソクラテス…「無知の知」を唱えた哲学者  
おしゃべりばかりで働かず妻から水をぶっかけられる

◇エリザベス1世…ドロ沼の家庭で苦勞しながらイギリスを大国にする

1.3cmも盛る厚化粧で表情が固まる

## 鏡の国

岡崎琢磨

### 『鏡の国』

岡崎琢磨／著

大御所ミステリー作家・室見響子の遺稿が見つかった。それは彼女が小説家になる前に書いた『鏡の国』という私小説を、死の直前に手直したものだ。『室見響子、最後の本』として出版の準備が進んでいたところ、担当編集者が著作権継承者である響子の姪に、突然こう告げる。「『鏡の国』には、削除されたエピソードがあると思います。」  
人気シリーズ『珈琲店タレランの事件簿』の著者がおくる、予測不能のミステリー。488ページの長さも、読みだすと止まりません。

## バスが来ましたよ

由美村嬉々  
松本春野

### 『バスが来ましたよ』

由美村嬉々／文 松本春野／絵

「始まりは女兒の声『バス来ましたよ』…」  
失明男性通勤をサポート、バトンは1年以上に「10 難病で視力を失った和歌山市職員の男性が10年以上にわたり、地元の小學生に助けられながらバス通勤を続けている。その児童の卒業後も後輩から後輩に「善意のバトン」が繋がれてきた。小さな親切の物語。実話が絵本になりました。」

## ★本のリクエスト受付中です★

図書室カウンターに置いてあるリクエスト用紙に記入して、専用箱に入れてください。

本の種類は、小説、エッセイ、マンガ、ライトノベル、実用書など、何でもOKです。  
(※リクエストの全てを購入できるわけではありません。)

図書室に所蔵があるか本を調べたいときは、検索パソコンをご利用ください。  
貸出中の本には予約することもできますのでカウンターで伝えてください。

## 図書委員おすすめの本

『宇宙兄弟』 小山宙哉／作

「兄とは常に弟の先を行ってなければならない」その言葉から始まりました。弟の日々人は宇宙飛行士となり活躍し、人気もある中、兄の六太は宇宙飛行士…ではなく、自動車開発会社? しかも退職…

しかし、あるおばさんの言葉により六太も宇宙飛行士を目指すことに。六太は合格できるのか…。是非読んでみてください。

「読書の秋」由来は?

「灯火ようやく親しむべく

簡編(かんぺん) 巻舒(けんじょ)すべし」

気候もよく夜の長い秋は、ともし火の下でじっくりと

読書するのに適している、ということ。